

	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
その他	その他		インド洋アフリカ諸国におけるサンゴ礁漁業に依存する漁業コミュニティの強靱性の向上を通じた生計、食料安全保障及び海洋保安の強化計画（FAO連携）	マルチ	■	■	■				4.75	8,14	国連食糧農業機関（FAO）
			経済社会開発計画（高速警備艇供与）	無償	■	■	■				3.00	16	
			東南部アフリカ・インド洋地域における海上連結性拡大プロジェクト	マルチ	■	■					0.96	8	インド洋委員会(IOC)
			経済社会開発計画（海難防止）	無償	■■■■■■	■■■■■■	■■■■■■				6.00	16	令和2年度
			経済社会開発計画（海難防止）	無償	■■■■■■	■■■■■■	■■■■■■				6.00	16	令和3年度
			経済社会開発計画（保健・医療機材供与）	無償	■	■	■				3.00	3	
			新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款	有償	■	■					300.00	3,17	
			デジタル化と能力向上を通じた強靱性支援プロジェクト	マルチ	■	■	■				1.30	3,9	国連開発計画（UNDP）
			保健分野の草の根人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■						
			SDGsグローバルリーダー	国別研修	■	■	■	■					
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）	国別研修	■	■	■						
			課題別研修、青年研修	課題別研修他	■	■	■	■	■	■			
			新興国金融行政研修 (Seminar on Improvement of Banking Supervision)	金融庁技協	■	■							9,10,17

凡例 「協定」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf